令和5年度 嶺北特別支援学校スクールプラン

福井県教育委員会

「一人一人の個性が輝く、
ふくいの未来を担う人づくり」

（福井県教育振興基本計画の
基本理念）

［校訓］

なかよく　　たくましく　　ねばり強く

［学校教育目標］（方針）

『心身の調和のとれた自立できる子どもの育成をめざす』

◇日常生活を豊かにする生活習慣と知識、技能を育てる。
◇健康と安全に心がけ、心身ともにたくましい子どもを育てる。
◇一人一人の個性やニーズに応じた教育を行い、自立できる子どもを育てる。
◇キャリア教育を通して、社会に参加し、生きる喜びを知る子どもを育てる。

学校業務改善のための取組

・時間管理を意識した会議運営（会議時間の縮減を意識して議事を進行し、効率的に会議を行う。）

人権教育の推進

・いじめやハラスメント防止の徹底と一人一人を大切にする人権意識の醸成
・障がい理解のための啓発と児童生徒の自己肯定感の育成

情報教育の推進

・情報機器の活用や情報セキュリティ、情報モラル教育を推進し、児童生徒の実態に合わせた効果的な指導

（目指す児童生徒像）

○健康でたくましい子　○自分らしく生きる子　○仲良く助け合う子　○喜んで地域で活動する子

重点目標

教育課程・学習支援				健康・安全	生徒支援		進路支援	保護者・地域との連携
小学部低学年	小学部高学年	中学部	高等部					
遊びを主とした活動を通して、人と関わる力を育てる。	個に応じた規模の集団の中で、自分の力を発揮しようとする態度を育てる。	集団への意識を高め、思いを伝え合いながら協力して活動しようとする態度を育てる。	社会と関わる様々な経験を通して、社会参加への関心と意欲を高める。	児童生徒が、発達段階に応じて、健康で安全な生活を送ることができる力を育てる。	児童・生徒が、個性を発揮し、互いに協力して活動に取り組む力を育てる。	寄宿舎生活を通して規律ある生活習慣を身に付け、一人一人の自立する力を育てる。	進路実現に向け、発達段階に応じて必要な情報を継続的に発信する。	保護者との積極的な情報交換により、協力関係をより深める。

具体的取組

遊びの指導の時間を中心に、友達や教師と関わる場面を積極的に設け、教師間で動画記録を振り返りながら、授業改善を行う。

目標：人と関わる力を高めるために、遊びを主とした活動の中で友達や教師と関わる場面を積極的に取り入れる。
満足度90％以上

具体的取組

個に応じた集団（クラス、学年、学部全体など）に参加し、自分の力を発揮できる場面を意識して設定するとともに、保護者に通信等で積極的に発信する。

目標：児童が集団の中で自分の力を発揮できる場面を、授業や行事に積極的に取り入れる。
満足度90％以上

具体的取組

様々な集団活動の中で、自ら考えて行動する場面や協力し合う場面を設定し、力を発揮できる学習活動を行う。

目標：個々の実態に応じた適切な支援を授業や行事に積極的に取り入れる。
満足度90％以上

具体的取組

卒業後の生活を見据え、社会参加への関心と意欲を高めるために、地域との連携を生かした学習活動（校外での体験、外部講師の招聘等）を積極的に行う。

目標：地域と連携した学習活動を積極的に取り入れる。
満足度90％以上

具体的取組

保健指導
児童生徒の発達段階に応じた病気やけが、事故の防止の指導（養護教諭による出前教室等）に取り組む。

目標：児童生徒の発達段階に応じた安全教育を行う。
満足度90％以上

具体的取組

生徒支援(1)
各学部体育大会や文化祭などの学校行事において、児童生徒の意欲を高めるため、実態に応じた活動内容を創意工夫する。

目標：個々の実態に応じて、児童生徒が活躍できる学校行事を工夫して行う。
満足度90％以上

具体的取組

生徒支援(2)
保護者や学校との連携を密にし、寄宿舎生活における適切な目標や具体的な支援方法を共有する。

目標：寄宿舎生活における一人一人の目標を保護者や学校と共有して、支援を行う。
満足度90％以上

具体的取組

進路支援
関係機関との連携を通して収集した進路情報を教職員間で共有し、進路説明会や懇談時に積極的に保護者に提供する。

目標：進路情報を教職員間で共有し、発達段階に応じた情報発信・進路支援を行う。
満足度90％以上

具体的取組

保護者との連携
授業参観や学校行事など保護者の来校機会を定期的に設ける。連絡帳などの日々のやり取りのほか、懇談時のICT機器を活用した情報交換を積極的に行う。
目標：日頃のやり取りや学校行事などの機会を通して、積極的に保護者との情報交換を行う。
満足度90％以上